



あなたにとって、
もっと身近な医療づくり



vol. **56**
2025.12

医療法人社団六心会 恒生病院

<http://www.kosei-hp.jp>

〒651-1505 神戸市北区道場町日下部1788番地

Tel.078-950-2622 Fax.078-950-2623

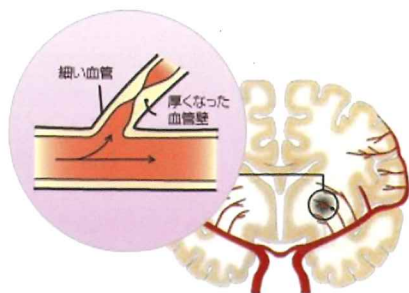
10月29日は「世界脳卒中DAY」



みなさん、こんにちは。今回は脳卒中について少しお話しさせていただきます。ちなみに「10月29日」は何の日だったかご存知ですか？世界脳卒中機構が毎年10月29日を『世界脳卒中DAY』と定めており、日本脳卒中協会は毎年10月を「脳卒中月間」としています。

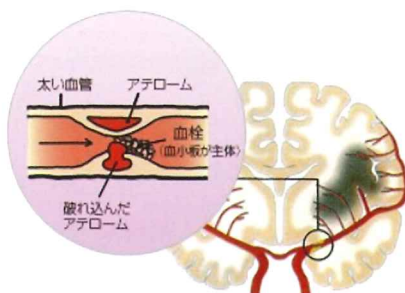
脳卒中とは血管が詰まって発症する『**脳梗塞**』、高血圧などで血管が破れて発症する『**脳出血**』、動脈瘤や血管奇形などが破裂し発症する『**くも膜下出血**』を合わせた呼称です。**脳梗塞**は血管閉塞の病因により、①ラクナ梗塞②アテローム血栓性脳梗塞③心原性脳塞栓症④その他、4つの病型に分類されます。それぞれの病型で急性治療や再発予防の内容が異なるため、まずは正確な病型診断をつけて、適切な治療につなげることが大切になります。

脳梗塞の分類と概要について



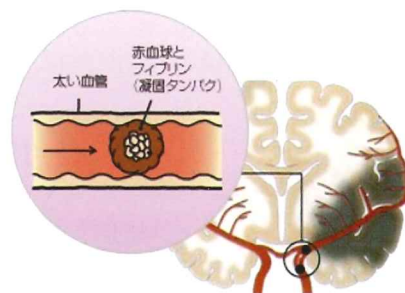
ラクナ梗塞

細い血管が詰まるタイプ。急性期治療は、点滴・内服治療になることが多い。



アテローム血栓性脳梗塞

動脈硬化で血管が詰まるタイプ。時に緊急手術を要することがありますが急性期治療の基本は点滴・内服治療が多い。



心原性脳梗塞

心臓でできた血のかたまり(血栓)が脳に飛ぶタイプ。緊急手術(**カテーテル治療**)の対象となることが多い。重症度の高い疾患の一つ。



脳卒中を一度起こした場合、再発はどの程度生じるのでしょうか？

脳卒中再発率



正確な診断と適切な治療の介入ができていますか？

まずはしっかり病型診断(MRI等の画像診断・採血検査・心電図検査)をした上で、適切な治療を行っていくことが大切です。特に**脳卒中は発症初年度の再発割合が高い傾向**にあり、慎重な観察が必要です。

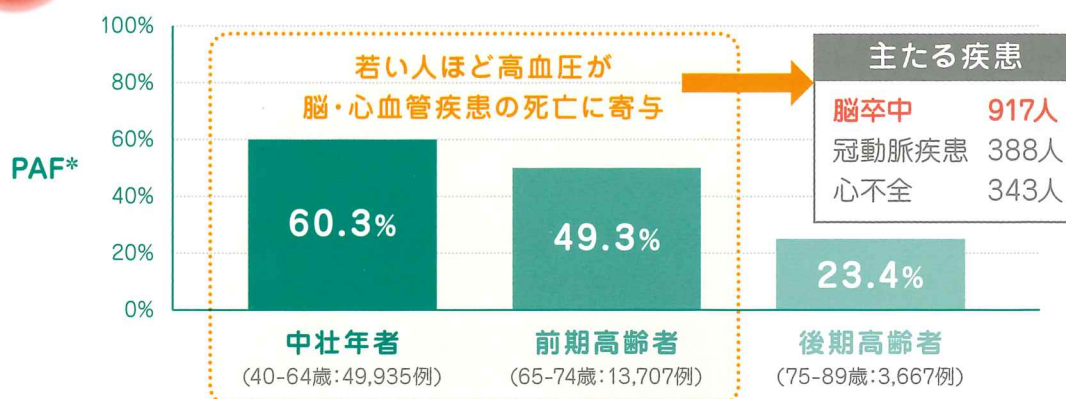


脳卒中予防にはまずは血圧管理が大切!!

こんなデータもあります!!

十分な降圧により予防できたと推定される脳心血管疾患死亡者割合

集団寄与危険割合(PAF*)：国内コホート研究EPOCH-JAPANのメタ解析(2012)



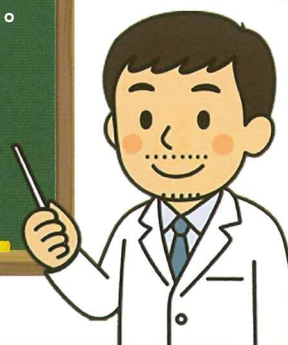
*PAF : population attributable fractions

Fujiyoshi A, et al. Hypertens Res 2012. 35: 947-53より作図

高齢者はもちろんですが、中壮年層では血圧関連での死亡者数が多いことが分かります。どの年代においても**血圧管理は重要で、脳卒中予防の基本**になります。

2025年7月に発表された新しい「高血圧治療ガイドライン」では、すべての人に共通の目標血圧が設定され
「130/80mmHg未満」が基本となりました。
家庭血圧は**「125/75mmHg未満」**が目標です。

では、またいつか続きを...



[小説] 四月は君の嘘 6人のエチュード

著:時海 結以 原作:新川 直司 出版社:講談社



～心に刻まれた、あの春の旋律～

あれから十四年もの時が流れた。月刊少年マガジンで初めて目にした時の衝撃は今も鮮明なままです。毎月、ページをめくる瞬間は期待と高揚で手が震えるほど。

ピアノの才能に蓋をした少年。その彼を、再び音楽の道へ引き戻そうと奔走する少女。音楽と淡く切ない恋心が交錯し、友人たちを交えた彼らの世界は、時に立ち止まりながらも、鮮やかな色彩を帯びていきます。紡がれる音と光、そして命の輝きに満ちた日々。しかし、物語は2015年唐突に終焉を迎え、同時に僕のマンガ人生も終わりました。

そんな中で手にしたのが、このご紹介する小説版「四月は君の嘘」です。

原作マンガの魂を深く汲み取り、感動をさらに研ぎ澄ませた、完成度の高い小説作品。

アニメ化、映画化もされていますが、私にとって原作のくれた「色」や「感動」こそが原風景であり他の何物にも替えられません。だからこそ映像作品はあえて目にしていないしこの先も触れることはないでしょう。

アニメや映画からこの物語を知った方も、この作品が描くかけがえのない「風景」を、深くご自身の心の中で色鮮やかに愛しんでほしい。そのように願って紹介します。

院長 田村 昌吾

お食事とれてますか? ～重要な低栄養対策～



低栄養は筋肉量を減らす原因となり、その結果サルコペニアやロコモティブ症候群へとつながります。また、低栄養状態では免疫力が低下し、肺炎やインフルエンザ、尿路感染症といった感染症に罹患するリスクが高まります。また、低栄養リスクを有する人は、発熱、脱水、全身倦怠感などで食欲不振になったり、脳梗塞などの脳血管障害などの原因で嚥下機能の低下で食事困難となり、低栄養に陥る可能性があります。

高齢の方は特に、70歳以上の5人に1人が低栄養といわれ、早期発見と適切なケアを開始し低栄養による合併症を予防することが必要です。そのためには、まず、食事摂取量の低下や体重減少を把握することで、低栄養および低栄養リスクに対する栄養ケアにつながります。

お食事の量が減ってきていませんか? 体重はかわりませんか? ご自身の食事量・体重変化に注目しながら、お食事や栄養状態に着目してみてください。



毎日
営業して
おります



レストラン ル・クール

当院にあるレストランについてご紹介いたします。

回復期リハビリテーション病棟1階にあるレストラン ル・クールはランチタイムのオアシスとして日替わりのお食事を提供しております。外来に来られた方や面会に来られた方などどなた様でも利用可能です。清潔感のある店内で笑顔あふれるスタッフが出迎えてくれます。

限られた時間の中でもスムーズな提供を心掛け、満足いただける美味しい食事をご用意してお待ちしておりますので、ぜひお越しくださいませ。

営業時間 11:00～14:30

